



令和5年 10月 19日 配信:子宮頸がん予防接種

Q1 子宮頸がんを発症することが多い年齢はどれでしょう?

50~70代 20~30代 10代

正解は **20~30代** です

がんは歳を取ってからかかるイメージがありますが、子宮頸がんは20代~30代の仕事や子育てに活躍する世代に発症しやすいがんです。ごく初期のがんを除いては子宮摘出となる可能性があり、妊娠や出産への影響はもちろん排尿障害等の後遺症により日常生活に支障をきたすこともあります。

Q2 子宮頸がんの原因となるウイルスはどれでしょう?

ヒトパピローマウイルス (HPV) ヒト免疫不全ウイルス (HIV) インフルエンザウイルス

正解は **ヒトパピローマウイルス (HPV)** です

子宮頸がんから検出されるヒトパピローマウイルス (HPV) にはいくつかの種類がありますが、HPV ワクチンの接種により5~9割の感染を防ぐことができます。

Q3 子宮頸がん (HPV) 予防接種により子宮頸がんの原因はどの程度防ぐことができるでしょう?

10~20% 50~90% 100%

正解は **50~90%** です

子宮頸がんには特効薬などの確実な治療法はありません。子宮頸がんの予防に効果があるのは予防接種と子宮がん検診を受けることです。

Q4 HPV の感染を防ぐ子宮頸がん (HPV) 予防接種を岡崎市で無料接種できる世代はいつでしょう?

小学4年生~5年生の男女 中学1年生~高校1年生の女子 全世代の女子

正解は **中学1年生~高校1年生の女子** です

岡崎市の子宮頸がん (HPV) 定期予防接種の接種期間は高校1年生までです。3回の接種で接種が完了となりますが、15歳までに9価ワクチンを接種した場合は2回の接種で済む場合があります。

Q5 平成9年4月2日生まれ~高校2年生の女子が令和7年3月31日までに子宮頸がん (HPV) 予防接種を受けた時の費用はいくらでしょう?

無料 千円~2千円 4万円~10万円

正解は **無料** です。

令和7年3月31日まではキャッチアップ接種として無料で受けることができますが、それ以降の接種は自費となり、4万~10万円程度の費用が掛かります。

無料で接種できる機会に早めの接種をご検討ください。